

ICT を活用した授業のイメージをつくりましょう

教科 ・ 領域等	国語
授業タイトル・単元名等	カンジーはかせの漢字しりとり
対 象 学 年	4 年
実 施 場 所	教室
ICT活用授業の内容	<p>授業のねらい 漢字しりとりを楽しみ、漢字を正しく読んだり書いたりする。</p> <p>授業の流れ</p> <p>1.</p> <p>①導入として、漢字しりとりではなく、ふつうのしりとり遊びを行う。</p> <p>②教科書を見て、例題をもとに、漢字しりとりのルールを理解する。その後、カンジーはかせの漢字しりとりを、映像を見ながら取り組む。</p> <p>◎カンジーはかせの漢字しりとりを、パワーポイントを活用して取り組ませる。映像として視覚的にとらえることができるので、漢字が苦手な児童も取り組みやすい。</p> <p>◎ワークシートも作成しておき、スライドを見ながら取り組めるようにする。</p> <p>◎わからない漢字等は漢字辞典を積極的に活用させる。</p> <p>③漢字しりとりに取り組む。</p> <p>◎様々な問題を用意しておき、どんどん課題に取り組んでいくことができるようにしておく。</p> <p>◎課題が終わった児童には、自分で漢字しりとりを作らせ、興味を引き出す。</p> <p>④時間が許す限り、他の漢字しりとりに取り組む。</p> <p>2.</p> <p>①カンジーはかせが新たに発明した漢字しりとりを行う。</p> <p>◎新たな漢字しりとりもパワーポイントを使って視覚的にとらえさせる。</p>

	<p>②教科書の問題に取り組む。</p> <p>③時間があれば、自作の漢字しりとりを考えたり、他の問題に取り組んだりする。</p> <p>◎教科書の問題に取り組んだ児童は「もっとやってみたい」という意欲をもっている。主体的に取り組むことができるようにさせたい。</p> <p>ICT活用のねらいと授業での位置づけ</p> <p>○ICTを活用することによって、国語や漢字の苦手な子どもにも親しみやすくした。</p> <p>○活字だけでなく、映像としてとらえることによって、興味をひくことができると考えられる。</p> <p>○導入段階で映像を使うことによって、漢字を苦手とする子どもにも興味を持たせやすいと考えられる。テレビのクイズ番組などで出される合体漢字などの遊びも取り入れて、意欲を出させたい。</p>
活用する ICT メディア	パワーポイント プロジェクター パソコン 書画カメラ
活用するコンテンツ等	なし